



防災まちづくり ニュース

【第1号・2013年8月】

●編集・発行

『翔鷺学区自主防災会』

『京都市都市づくり推進課』

京都市中京区寺町通御池上る上本能
寺前町 488

電話：075-222-3503

FAX：075-222-3478

ご挨拶～防災まちづくりの取組にあたって～

この度、翔鷺自主防災会は、右記のとおり「翔鷺学区防災まちづくり協議会」を設立し、京都市と共に「防災まちづくり」の取組を始めました。

翔鷺学区の細街路や袋路等が集積する防災上課題のある地区をはじめ、学区全体で安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。

今後、下記のまちあるきをはじめとした様々な取組を進めてまいりますので、地域の皆様には出来ます事ならご協力頂きたくお願い申し上げます。
(翔鷺自主防災会会長 鶴川 健)

『翔鷺学区防災まちづくり協議会』

会長

鶴川 健

委員

長谷川 照次	藤原 慎太郎
吉田 耕治郎	中田 克美
大串 頼長	山田 和男
石田 寿男	河元 正一
小西 克己	数森 義和
大平 稔忠	村田 秀夫
高田 豊	

◆防災まちづくりの取組を始めました！

翔鷺学区は、北野天満宮をはじめとする数多くの史跡や、古くからの町並みや路地などが数多く残り、京都らしい歴史的な風情を醸し出しています。

一方で、木造家屋が多く密集するとともに、行き止まりや狭い幅の路地が多く、地震時等には、建物の倒壊や火災が生じて、大きな被害を受ける恐れがあります。

このような状況を改善するため、自主防災会を母体として『翔鷺学区防災まちづくり協議会』を立ち上げ、平成25年7月26日（金）に第1回会合を開催し、京都市等との連携のもとで、安心・安全で災害に強いまちづくりに向けた取組をはじめました。

今後、定期的に会議を行い、その検討や取組の内容は、「翔鷺防災まちづくりニュース」でご報告する予定ですが、学区の皆さんと一緒に進めていくことが重要と考えておりますので、防災に関する情報やご意見がありましたら、是非ご協力いただきますようお願いいたします。

◆“第1回まちあるき”を実施します

防災まちづくりの取組の第一歩として、右記のとおり“第1回まちあるき”を実施します。

路地の幅員や避難経路の有無など、地域の問題点や改善点について、実際に現地を見て確認します。近くにお住まいの方、防災に関心のある方もぜひご参加ください。

また、路地にお住まいの方にも、お話を聞かせていただきたいと思いますので、その際にはご協力をお願いします。

日時：平成25年8月31日（土）
午前9時から

集合：翔鷺会館

あるく場所：柏清盛町、溝前町、東柳町、
西柳町、真盛町、社家長屋町、
東今小路町、馬喰町

～自主防災会からのお知らせ～

翔鷺自主防災会では、この度、翔鷺小学校内にある防災器具庫に次ぐ2つ目の防災器具庫を翔鷺児童公園に設置しました。この器具庫には、炊き出し用の大型の鍋やコンロなどの様々な器材を保管しています。公園内のかまどベンチとともに、いざという時のための備えとして大切に使いましょう。

防災器具庫
(翔鷺児童公園)



かまどベンチ
(翔鷺児童公園)

「防災まちづくり」とは？

「防災まちづくりは」地震や火災に強いまちをつくるための住民と行政の協働の取組です。特に、いえやみちの安全性を高め、まち全体の安全性の向上につなげることに主眼を置いていきます。

これから、翔鷹学区で一緒になって取り組めることを具体的に探っていきます。

例えば

地震で古い木造家屋などが壊れないか心配

- ★建物の耐震性をチェックし、必要ならば補強しておくことが大切



阪神淡路大震災

行き止まりの袋路で逃げ遅れないか心配

- ★行き止まり部分に扉を付けたり、袋路入口などの耐震性を高めることが大切



万一火災になったら避難や防火活動が間に合うのか心配

- ★避難ルートの確認と日頃の適正な管理が大切
- ★初期消火の体制や消火栓など防火の備えを一層強化することが大切



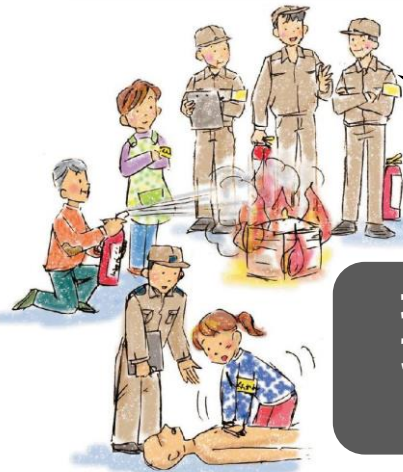
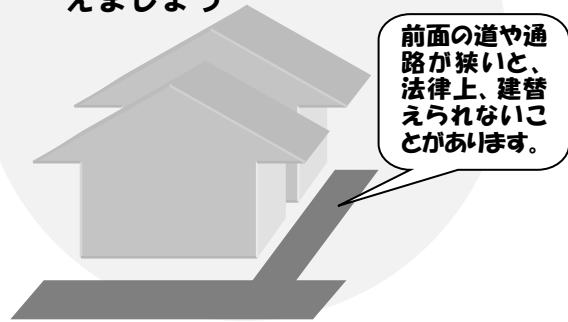
阪神淡路大震災



万一の際に、路地に置かれたものが倒れ、路地の通行を妨げる恐れがあります。

建て替えたいが、敷地が面する道や通路が狭いと難しいらしい

- ★建替えしやすいルールづくりを市と一緒に隣近所で考えましょう



地域の皆さんで
取り組むことが
大切です